

令和4年度静岡県さくら写真コンクール入賞作品選評

「総 評」

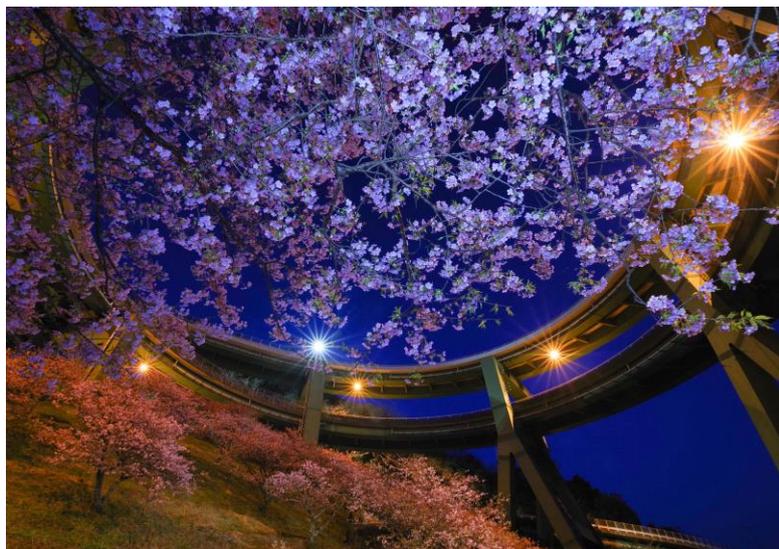
今年の応募作品は、

「桜の風景」部門	655点	(前年度483点)
「富士山と桜」部門	292点	(前年度200点)
合 計	947点	(前年度683点)
(うち、U-25賞対象)	(83点)	(前年度81点)

去る5月27日に審査が行われました。今年で新型コロナウイルス感染症の影響も3年近く続いており、応募点数の動向も心配されておりましたが、昨年度までは応募作品のサイズを4つ切サイズに限定していたものを、今年度よりA4サイズも対象とした事もあり、前年度より264点増え総応募点数947点と増加いたしました。

作品の内容は応募点数の増加に伴い、内容の質も向上しており素晴らしい作品が多く見られました。ただし、例年と同じですが応募作品の多くのプリントで感じることは、自宅でのプリンターによるプリントだと思われそうですが、プリント時の色の調整で手を入れすぎて、派手な色調にするあまり自然の色を壊している作品などが多く目立ちました。ご自分の作品は撮影から最終段階であるプリントまで丁寧に仕上げしてほしいものです。

最優秀賞	
部 門	部門共通
作品名	宵の桜
撮影地	河津町 ループ橋
撮影者	園田 千鶴 (沼津市)
<p><選評> この作品は夜の時間帯でしょうか、河津町のループ橋を見上げて撮影しています。橋の半円の中に満開の桜の花を大きく入れ、花に照明を当てて浮かび上がらせています。ブルーの空に薄ピンクの花が散りばめられ桜の魅力がとても良く表現された作品だと思います。 この作品に似た作品は数点ありましたが、この作品が一番ドラマチックな風景に仕上がっていたと思います。 画面の構成力、撮影技術なども素晴らしく、秀逸な作品になっています。</p>	



「桜の風景」部門

	特 選	
	作品名	共生
	撮影地	富士市比奈
	撮影者	宮崎 泰一 (富士市)
	<p><選評> この作品は富士市の岳南鉄道沿線の工場の夜景で、川沿いの桜と菜の花、ライトアップされた工場を長時間露光で撮影しています。煙突からの煙も風により長く流れており効果的です。 桜の花と工場のピンク色と菜の花の黄色が美しく画面を構成しており、力強い作品で作者の力量を感じさせてくれます。</p>	

	準特選	
	作品名	棚田に咲く
	撮影地	菊川市 千榎 (せんがまち)の棚田
	撮影者	加藤 洋一 (島田市)
	準特選	
	作品名	立ち込む霧
	撮影地	島田市川根町家山
	撮影者	市川 隆夫 (静岡市駿河区)
	<p><選評></p> <p>菊川市のせんがまちの棚田での撮影とのことでした。</p> <p>高台から広く棚田を見下ろしています。左右には満開の桜の花を配しており、夕焼けに染まった雲が、田植え前の水を張った棚田の田毎に映り込み特別な美しさを演出しています。</p> <p>事前のロケハンと気象条件のチャンスを見事にものにした作品です。</p>	
	<p><選評></p> <p>島田市川根町家山にある牛代の水目桜です。</p> <p>朝の時間帯の撮影で、霧が立ち込めている中に咲き誇る桜が幽玄な世界を演出しています。朝日がさし始めた頃なのではないでしょうか、枝の影の部分の霧と、日が当たった霧が描く模様も朝の澄んだ空気感を表現しています。</p> <p>この写真も気象条件をうまく使った作品です。色調がモノクローム調であることも良かったと思います。</p>	

「富士山と桜」部門

	特 選	
	作品名	目覚めの時
	撮影地	裾野市須山
	撮影者	上野 祐司 (神奈川県 足柄下郡箱根町)
	<p><選評> 裾野市須山からの富士山です。朝焼けの富士山と前面に咲き誇るさくらで構成しています。 朝日に染まる富士山の雪の質感も美しく、桜の花の量感も力強く描写されています。余分なものは写しこまない潔い作品だと思います。</p>	

	準特選	
	作品名	早春
	撮影地	静岡市 薩埵峠
	撮影者	相羽 強 (周智郡森町)
	<p><選評></p> <p>静岡市薩埵峠での撮影です。夕暮れ時か薄暮の時間帯でしょうか、海岸線を走る東名高速道路は車のライトやテールランプの灯りが輝いています。</p> <p>残照の中に佇む遠景の富士山も存在感があります。そして、前面の八重桜の花を補助光で浮かび上がらせており温かい春の雰囲気表現されています。</p> <p>画面構成も隙がなく力強い作品です。</p>	
	準特選	
	作品名	春の訪れ
	撮影地	沼津市 井田
	撮影者	菅沼 英巳 (御殿場市)
	<p><選評></p> <p>沼津市井田での撮影。満開の河津桜でしょうか、濃いピンク色の桜を前面に配し、駿河湾越の富士山を撮影しています。</p> <p>朝日に照らされた風景は春の温かさを存分に感じさせてくれる作品になっています。</p> <p>一条の白雲と一羽のトンビが画面を引き締めています。</p> <p>この場所は多くの作品が応募されていますが一味違う写真になっていることが成功したと思います。</p>	

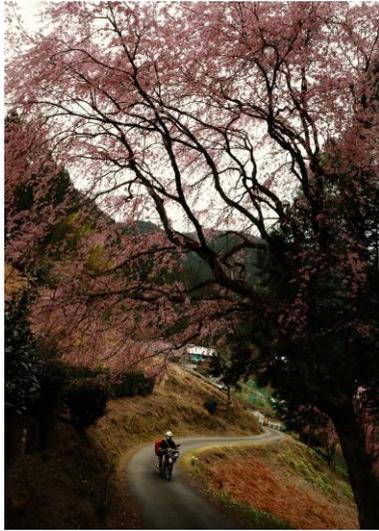
	U-25 賞	
	作品名	新生活
	撮影地	静岡市葵区 駿府城公園
	撮影者	森田 陸斗 (静岡市葵区)
	<p><選評></p> <p>この賞は昨年度から新設された、25歳以下の作者の作品を対象としたものです。</p> <p>この作品は駿府城公園での撮影です。題名から考えられるのは、自転車に乗った学生さんが、桜の花を眺めながら新しい学校に登校する場面を描写したものだと思えます。</p> <p>作画の発想は面白いと思いますが、作品としてコンクールに出品する場合は見せ方にも気を配って欲しいと思います。</p> <p>まず下部のベンチの隙間にある黄色に目立つ部分は邪魔ですからカットすべきでしょう。</p> <p>両サイドの黒い部分は額縁効果はあるものの狭めて整理する、左上のオレンジ色のゴーストもカットする(トリミングにより処理)、題名も「新生活スタート」の方が自転車で走り出すことと繋がりイメージが膨らんでくるのではないのでしょうか。</p> <p>参考にして頂ければ幸いです。</p>	

他に両部門から 10 点の入選作品が決定いたしました。

全体を通じて良い作品を何点も出されていた方が数人おられました、一人一賞の決まりから一点のみの入賞となっております。

今回入賞を逃した方も次回の挑戦を期待いたします。

入 選 (「桜の風景」部門)



作品名	里山の春
撮影地	浜松市天竜区春野町大時
撮影者	鈴木 信子

作品名	「桜。耐える」
撮影地	伊東市 大室山
撮影者	村松 正敏



作品名	宵の春
撮影地	三島市 三嶋大社
撮影者	松原 智美

作品名	夜桜と夜景のコラボ
撮影地	富士市岩本 岩本山公園
撮影者	山本 武正

入 選（「桜の風景」部門）



作品名	駆ける子
撮影地	浜松市浜北区 岩水寺
撮影者	小松原 清

入 選（「富士山と桜」部門）



作品名	紅富士桜（べにふじさくら）
撮影地	御殿場市東田中 平和公園
撮影者	岩浅 利泰



作品名	あけぼのに浮かぶ
撮影地	沼津市井田
撮影者	細井 健司

入 選 （「富士山と桜」部門）



作品名	未明の桜ロード	作品名	春の彩り
撮影地	裾野市須山 パノラマロード	撮影地	富士宮市白糸
撮影者	飯田 龍治	撮影者	筒井 章
作品名	瑠璃の刻に華やいで		
撮影地	富士宮市 田貫湖		
撮影者	三井 雅之		

コンクールの審査は、A4 及び四つ切写真での審査を行っております。

本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。